

6. 北陸（地域別調査機関：（財）北陸経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良くなっている	コンビニ（店長）	販売量の動き	・乗客数、販売量とも前年に比べて良くなっているが、特に土、日曜日が顕著である。
	やや良くなっている	商店街（代表者）	来客数の動き	・大型ファッションビルの建て替え工事中にもかかわらず、ゴールデンウィークは例年に比べてかなりの人通りがあった。
		一般小売店〔書籍〕（店長）	販売量の動き	・一品単価は安い、買上点数は非常に増えており、客単価は上昇している。来客数もここ数か月増加している。
		百貨店（営業担当）	お客様の様子	・ファッション全体では明るいカラーの商品が顕著に動いている。また、従来は汎用性を重視して単品買いが多かったが、最近はトータルファッション志向で客単価が上昇している。
		スーパー（店長）	単価の動き	・店内にベーカリーショップを増設したため品ぞろえが向上し、客の動きが良くなった。
		コンビニ（経営者）	販売量の動き	・4月に続き天候不順で気温の低い週末が多かったが、売上は主力商品の中食が健闘し、ソフトドリンクや冷めんのマイナスをカバーしたため前年比で102%となった。
		衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・一品単価の上昇に加え、組合せによる購入の動きも見られ、客単価は前年比10～15%の上昇となっている。
		自動車備品販売店（従業員）	お客様の様子	・最近になってボーナスを当てにした商談が多くなっている。ここ2、3年あまり見られなかったことで、客側の期待が高まっている。
		都市型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・宴会、レストラン、宿泊の各部門とも売上は前年を上回った。
		旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・売上は団体旅行を中心に前年比約50%増加した。
		タクシー運転手	来客数の動き	・ゴールデンウィークは天候が良く、休みも長かったせいか、人出が前年より多く、売上はタクシーの台数が多いにもかかわらず、近年になく良かった。
		通信会社（役員）	販売量の動き	・例年5月は販売量が落ち込む時期であるが、6月のサッカーワールドカップを控え、ケーブルテレビのデジタルサービスの申込は堅調である。
		住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・土地価格の値下げ幅が大きくなっており、住宅新築が進んでいる。
		変わらない	一般小売店〔鮮魚〕（従業員）	販売量の動き
百貨店（営業担当）	お客様の様子		・ゴールデンウィークから母の日までは旅行用の薄手ジャケットやギフト商品などが好調であった。中旬以降は麻やシルクなど見た目に涼しい夏素材のTシャツ、タンクトップなどの単品買いが目立ち、5月全体の婦人服の売上は前年比105.8%となった。母の日のイベントでは20代後半から30代の男性客が母親に婦人服を買ってあげる姿が何組も見られた。	
スーパー（店長）	競争相手の様子		・6、7月に大手スーパーの2店舗が近隣で新規開店するため、既存の地元スーパー同士の価格競争が激化している。ただ、客もチラシだけでは右往左往しなくなっている。	
スーパー（総務担当）	販売量の動き		・日照不足により一部の野菜が高値となり、販売量が伸びていない。	
スーパー（総務担当）	販売量の動き		・衣料品は中旬、中旬に気温が上がったせいで動きが活発になり、売上は好調である。食品はあまり変わらず、前年並みである。	
スーパー（営業担当）	販売量の動き		・競合店の出店などで競争が激化し、一品単価が低下している。1人当たり買上点数が変わらないため客単価も低下している。	
コンビニ（経営者）	単価の動き		・来客数は微増であるが、客単価が低下傾向にある。特にビール類などの販売では発泡酒から第3のビールへの移行が見られる。	
衣料品専門店（経営者）	来客数の動き		・ゴールデンウィークを中心に月前半の集客が比較的良かったため、なんとか前年並みの売上を維持できた。	

	家電量販店（経営者）	販売量の動き	・エアコン、パソコン、DVDレコーダーの売上が大幅に前年割れとなっている。	
	家電量販店（店長）	販売量の動き	・単価の高い薄型テレビの売上は前年に比べかなり伸びている。	
	乗用車販売店（営業担当）	来客数の動き	・例年、来場者数の多いゴールデンウィークであるが、今年は前年の8割程度にとどまった。	
	乗用車販売店（経理担当）	単価の動き	・前月まで比較的好調であった高額車の売上が低迷している。	
	住関連専門店（店長）	お客様の様子	・客が商品を買う場合に何度も下見をしたり、他店と比較したり、買い回りをする様子が多く見られ、購入態度はより慎重になっている。	
	その他専門店〔酒〕（経営者）	販売量の動き	・酒類量販店に客を奪われ、3か月前の最低レベルの売上がそのまま続いている。	
	高級レストラン（スタッフ）	販売量の動き	・4月中旬に新しいバス路線が開通してから、明らかに客の流れが変わった。新路線沿いの店舗は前年比約110%、市中心部近くの店舗は同約98%で推移している。全体では商圏が広くなり、集客が好調である。	
	一般レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・今年は昨年のお愛知万博開催時のような悪影響がないと期待していたが、結果は良くなかった。5月は気温も上がらず、夏メニューも今一つ伸びず、横ばいの状況が続いている。	
	旅行代理店（従業員）	単価の動き	・市街地店では来客数の減少に加え、単価の低下により販売高が減少しているが、郊外店では来客数の増加が見られる。	
	テーマパーク（職員）	来客数の動き	・ゴールデンウィークは天候と曜日の並びが良かったため、来場者数は前年を上回ったが、月全体ではここ数か月の傾向と同様に、前年に比べマイナスとなった。	
	住宅販売会社（従業員）	来客数の動き	・新規住宅購入層が伸び悩んでおり、常設展示場では来場者数が減少している。	
	住宅販売会社（総務担当）	来客数の動き	・展示場、不動産の現場への来場者からは、今後のローン金利上昇を予想しているせいか、様子眺めの傾向が見られる。	
やや悪くなっている	コンビニ（経営者）	販売量の動き	・来客数が前年比で7%減、客単価が同3%減となっている。	
	乗用車販売店（経営者）	お客様の様子	・新車販売は前年レベルまで回復したが、これまで順調に来ていた修理関連が低調になっている。	
	乗用車販売店（総務担当）	販売量の動き	・大衆小型車は堅調な売行きであるが、当社の主力車種のセダン（2,000～3,000CCクラス）の受注が低迷しているため、受注総量や総利益が今一歩不足している。	
	スナック（経営者）	来客数の動き	・月後半から貸切りや団体客が入り、月全体の売上は例年の1割増となったが、中旬までは長いゴールデンウィークのため深刻な来客状況であった。出入りのカラオケ業者は「景気回復の実感はない」とこぼしている。	
	タクシー運転手	来客数の動き	・最近、市内北部で新型路面電車が開通したため、この地域でのタクシー利用客が減少している。	
	通信会社（営業担当）	お客様の様子	・携帯電話の新機種が6月に発売されるが、旧機種の値下げを見越して、店頭で機種だけを見て帰る客が多い。	
	パチンコ店（店員）	単価の動き	・人気台の不在とイベントのマンネリ化が続き、1人当たり売上単価が低下している。	
悪くなっている	商店街（代表者）	来客数の動き	・相変わらず人通りは少なく、来客数も減少している。加えて、来街者も街をぶらつくだけで、買い控えの傾向が止まらない。	
企業動向関連	良く なっている	-	-	
	やや良く なっている	繊維工業（経営者）	受注量や販売量の動き	・客からの発注が予想以上におう盛で、一部の機械では生産能力を超えている。
		一般機械器具製造業（経営者）	それ以外	・設備投資関連でやや過熱気味になっている。最近の納期面では大型機、専用機で来年3月以降、汎用機、標準機で今年11月以降まで延びている。
	一般機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・例年、3月の決算期に受注が集中し、翌期に減少する傾向があるが、今年は減少の度合いが少ない。	

		新聞販売店〔広告〕（従業員）	受注量や販売量の動き	・ここ半年間、受注単価は低下しているが、受注量の増加がこれを上回っているため売上高は前年を超えている。
変わらない		精密機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・一部の客からは眼鏡の販売量が多少上向いているとの話を聞くが、全体的には現状維持の状態が続いている。また、原材料費の高騰により、一部のフレームメーカーでは販売価格への転嫁を働きかけているものの、現時点での受け入れは非常に厳しい状態である。
		建設業（総務担当）	受注価格や販売価格の動き	・公共工事の入札価格は採算度外視と思われる低入札が続いており、業界全体が混乱状態に陥っている。
		輸送業（配車担当）	受注価格や販売価格の動き	・軽油の高騰とトラックの排ガス規制による燃費の悪化で、収益が圧迫されている。
		金融業（融資担当）	取引先の様子	・中小の建設関連企業の多くは、公共工事削減の影響を強く受けている。
		会計事務所（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・取引先の機械器具製造業の受注量はやや減少したが、一応の量は確保できている。中小企業では材料、燃料費などの原価高を売値に反映するのが難しく、利益が圧迫されている。
やや悪くなっている		食料品製造業（企画担当）	受注量や販売量の動き	・ゴールデンウィーク以降の荷動きが良くなく、数か月続いていた前年比較での増収傾向が、今月はマイナスになる見込みである。
		輸送業（配車担当）	受注量や販売量の動き	・原油高騰の影響を受けて値上げが予定されているティッシュペーパーなど紙製品の荷動きが鈍く、前年の物量をクリアできていない。
悪くなっている		建設業（経営者）	競争相手の様子	・公共事業が半減したため、ほとんどの建設業者の売上も大幅に落ち込み、機械の売却、賃金カット、人員整理などで対応しているが、対策が限界に達した企業から淘汰されている。
雇用関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	職業安定所（職員）	それ以外	・数年ぶりに求人の申込をする事業所が増加し、また、新規学卒求人説明会の参加事業所が大幅に増加している。
	変わらない	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・正社員以外の募集も多くなっているが、人材の質やスキルを要求されるため、供給が間に合わない。
		人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・正社員の採用が一服したせい、単発の求人はおう盛であるが、長期の求人は減少気味である。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	求人数の動き	・求人広告の集稿状況は前年に比べ1割減少している。
	やや悪くなっている	求人情報誌製作会社（編集者）	求人数の動き	・正社員、パートの募集件数が3か月前に比べ約10%減少した。連休明けから企業、店舗の求人に一服感が見える。
悪くなっている	-	-	-	